

汚泥処理

RESER/レセルシステム

地球にやさしい汚泥減量化システム

RESERシステムは、従来の嫌気性消化処理技術に加水分解による汚泥の可溶化プロセスを効果的に適用した技術であり、大幅な汚泥量の削減に加え、設備の省スペース、創エネルギーの特長を有しています。

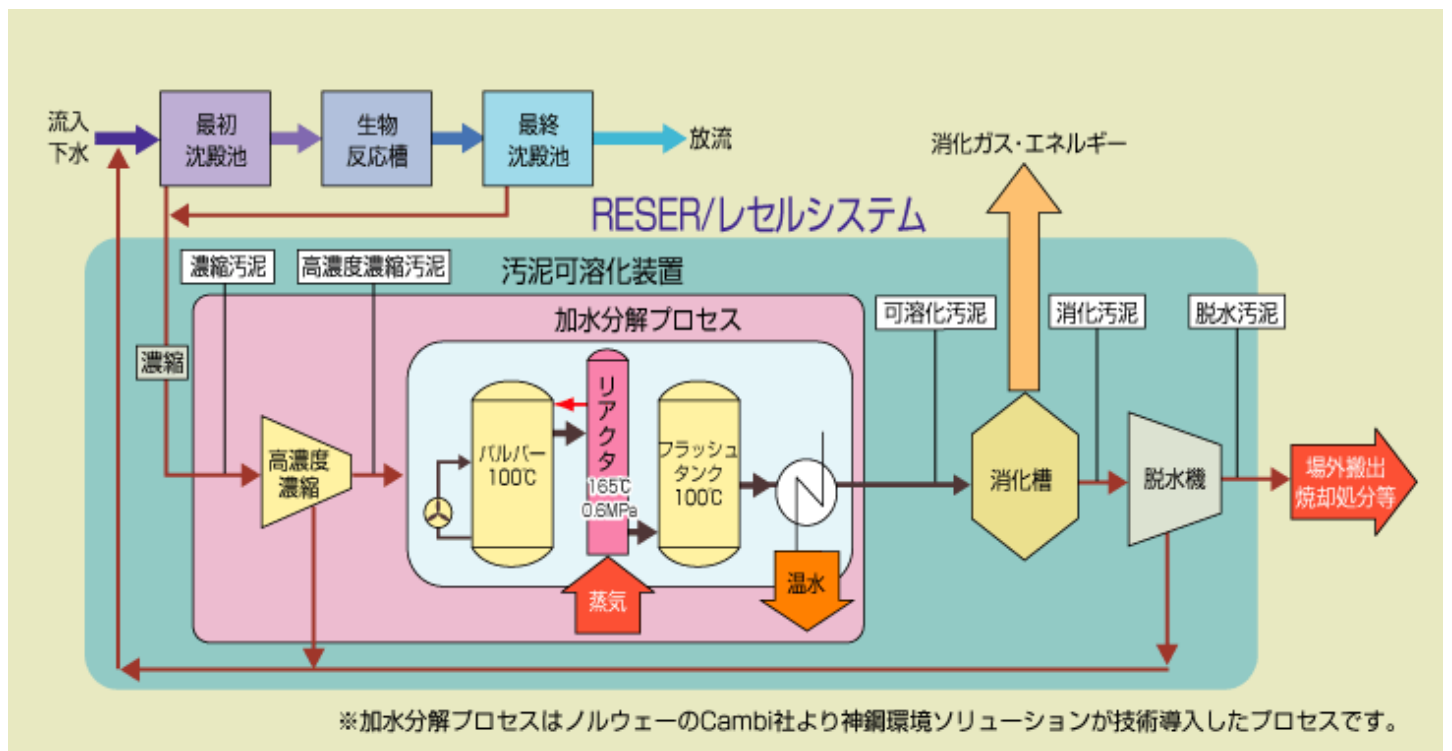


2005年3月 建設技術審査証明事業を
汚泥可溶装置について取得しました。

特長

- 脱水汚泥を40%以上減量化（従来处理と比較、以下同様）
REduce Sludge for Eco-Revolution
- 消化槽容量を1/3に削減
REduce Space for Eco-Revolution
- 有効利用エネルギー量が1.4倍に増加
REsources Supply for Eco-Revolution

システムフロー



新潟県の長期計画「資源再生・ごみ半減戦略」における下水汚泥の最終処分場埋立て量削減の一環として、新潟県長岡浄化センターにて実証実験を行った後、2005年度から2008年度まで商用運転を行いました。

- 実施時期：2002年度実証プラント建設／2005年度～2008年度商用運転
- 処理能力：定格3.9t-DS／日（流入汚水量：20,000m³／日相当（長岡浄化センター発生汚泥1／2量相当）
- 実績：ヨーロッパでは既に53件の実績(受注)があり、最大で流入下水量 1,800,000m³／日規模の設備が稼動しています。